



# 中期経営計画

(2018年度～2020年度)

2018年3月

大阪厚生信用金庫





## 当金庫のスローガン

### 「夢・愛・熱の経営」による発展

※ 当金庫の創業百周年（2022年度）に向けて、職員全員が元気に、明るく、夢を持って業務に邁進していく。

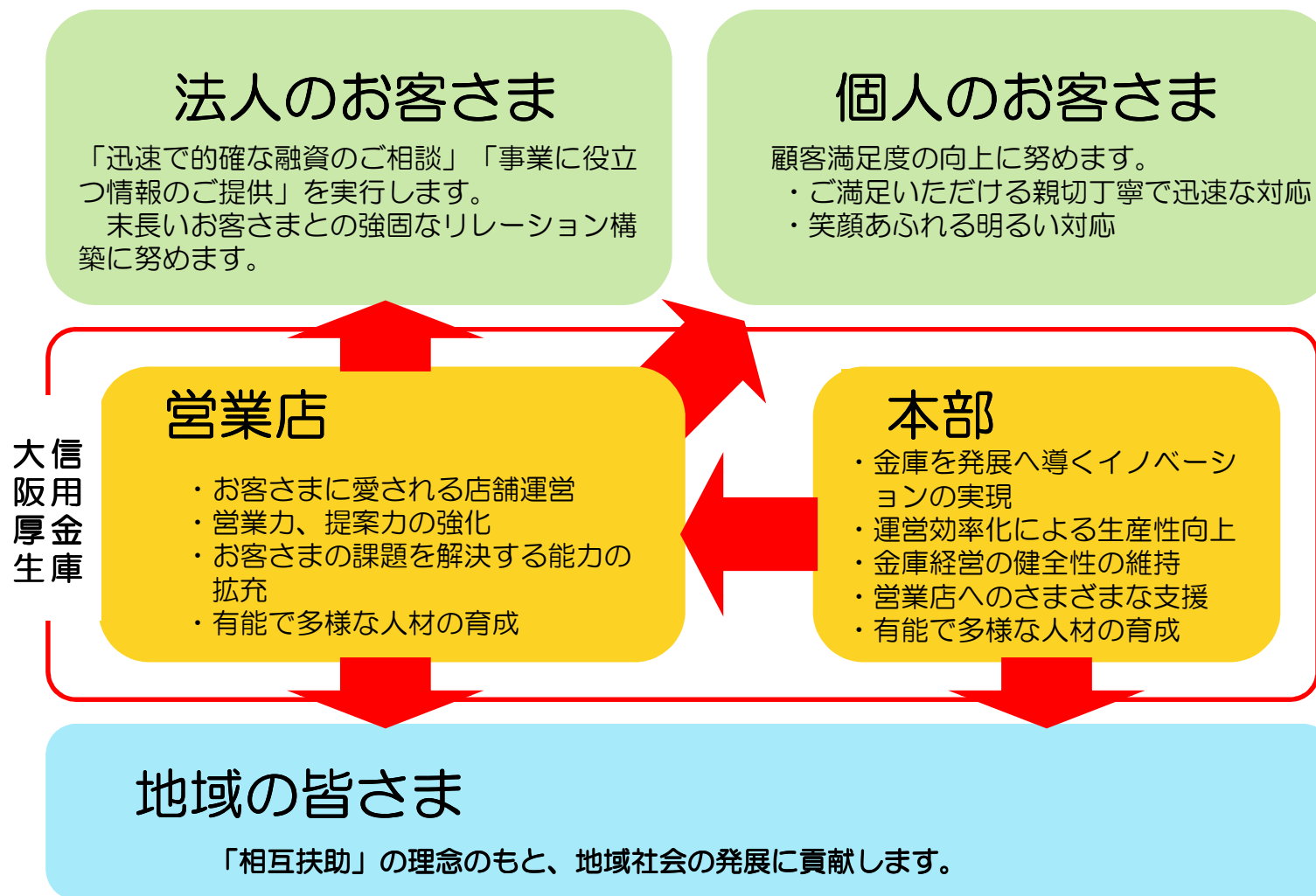
## 目指す当金庫の姿

「相互扶助」の理念のもと、お客様と共に地域社会の発展に資する「強固な経営基盤を持つ地域金融機関」を目指す。





## 目指す当金庫の姿





## 計画の骨子

- i. 持続的な「成長」の確保
  - 積極的な融資を柱として、当金庫の規模の拡大を図る。また、安定した預金の吸収と、余資運用での安全資産の積上げを行い、持続的な当金庫の成長を確保する。
- ii. 安定した「収益」の獲得
  - お客さまとの末長いお取引を前提とした長期の融資、長期安定収益を展望した余資運用を行い、毎期、安定した高収益の獲得を目指す。
- iii. あらゆるリスクに耐えうる「自己資本」の蓄積
  - 安定した収益の獲得と、お客さまからの出資金の積み上がりにより、自己資本の蓄積を図る。
  - 金融機関の健全性の代表指標である「自己資本比率」の積上げを図る。
- iv. 外部環境変化に対応できる効率的な「組織」の構築
  - 営業店 -----
    - お客さまの資金ニーズを的確に捉え、提案型融資の強化に向けた体制を構築する。
    - 中小企業の企業価値向上のための金融仲介機能の強化と発揮を実現する。
    - 営業課人員、融資課人員の増強と、適正人員の配置を徹底する。
  - 本部 -----
    - 各部における人材育成の強化と、専門人材の確保を図り、少数精鋭での機動的な運営を実現する。
    - リスク管理・法令順守・顧客保護など、柔軟で確かな対応能力をもつ内部管理体制を構築する。





## 計画の骨子（つづき）

### v. 継続的な「地域」への貢献

- これまでにも増して、ビジネスマッチング、地域支援等の活動を充実させる。
- 地域に根差す信用金庫として、地域への貢献を充実させるとともに、当金庫の存在感をより大きなものへの成長させる。

### vi. 「人財」の充実

- 新卒採用・中途採用により適正な人財を確保する。
- 当金庫人財への充実した教育により、育成を図る。
- 働き方改革等を通じた「厳しくも温かい職場」の実現を図る。

※ 当金庫では、「人は財産」との理念から「人財」という表現をしています。





## 主要な計画計数

### 1. 規模

	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
預積金末残	12,400億円	13,300億円	14,200億円
貸出金末残	5,720億円	6,290億円	6,860億円

### 2. 収益

	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
預貸業務利息	14,546百万円	15,933百万円	17,323百万円
余資運用収益	7,272百万円	7,005百万円	7,212百万円
当期純利益	10,046百万円	10,785百万円	10,901百万円





## 主要な計画計数（つづき）

### 3. 店舗数

	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
店舗数	26店舗	28店舗	29店舗
店舗新設数	1 店舗	2 店舗	1 店舗

※ 2019年度については、営業地区の拡大を想定。  
新たな地区には積極的な店舗展開を行う。

### 4. 常勤役職員数

	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
常勤役職員数	581名	606名	626名
新卒採用数	50名	40名	30名





## 「現在（2017年9月末）の当金庫の立ち位置」と 「中期経営計画 最終年度末の計画計数」

※ 順位は、全国263金庫中の順位

### 1. 規模

- 貸出金末残 5,107億円（33位）⇒ 6,860億円
- 預積金末残 10,990億円（32位）⇒ 14,200億円

### 2. 収益性

- 当期純利益 半期 6,005百万円（3位）⇒ 通期 10,901百万円

### 3. 健全性

- 自己資本比率 9.60% ⇒ 10%台

### 4. 効率性

- PH貸出金末残 930百万円（8位）⇒ 1,100百万円
- PH預積金末残 2,002百万円（5位）⇒ 2,270百万円
- PH当期純利益 半期 11百万円（2位）⇒ 通期 17百万円
- OHR（経費/業務粗利益） 36%（2位）⇒ 37%台
- 経費率（経費/預金残高） 0.62%（4位）⇒ 0.6%台







## 計画計数の詳細

	見込	計画			
		中期経営計画			
	2017年度 平成29年度	2018年度 平成30年度	2019年度 平成31年度	2020年度 平成32年度	
預積金残高(末残) (億円)	11,420	12,400	13,300	14,200	
同、増加額 (億円)	998	980	900	900	
貸出金残高(末残) (億円)	5,150	5,720	6,290	6,860	
同、増加額 (億円)	382	570	570	570	
預貸率 (%)	45.1%	46.1%	47.3%	48.3%	
余資運用残高(末残) (億円)	6,682	7,240	7,677	8,119	
同、増加額 (億円)	622	558	437	442	

	2017年度 平成29年度	2018年度 平成30年度	2019年度 平成31年度	2020年度 平成32年度
税引前利益 (百万円)	14,095	13,952	14,979	15,141
預貸業務利息 (百万円)	13,309	14,546	15,933	17,323
預積金利回り (%)	0.412%	0.387%	0.365%	0.343%
貸付金利回り (%)	3.502%	3.452%	3.402%	3.352%
預積金利息 (百万円)	4,514	4,609	4,690	4,716
貸付金利息 (百万円)	17,823	19,155	20,623	22,039
余資運用収益 (百万円)	6,765	7,272	7,005	7,212
うち、利息 (百万円)	3,055	3,272	3,505	3,712
余資運用利回り (%)	0.486%	0.470%	0.470%	0.470%
うち、売買益 (百万円)	3,710	4,000	3,500	3,500

	見込	計画			
		中期経営計画			
	2017年度 平成29年度	2018年度 平成30年度	2019年度 平成31年度	2020年度 平成32年度	
経費 (百万円)	7,008	7,675	8,173	8,764	
うち、人件費 (百万円)	3,896	4,268	4,540	4,784	
うち、物件費 (百万円)	2,956	3,252	3,477	3,824	
うち、税金 (百万円)	156	156	156	156	
与信コスト (百万円)	-587	1,000	400	1,240	
その他 (百万円)	447	810	614	610	
法人税 (百万円)	3,958	3,907	4,194	4,239	
当期純利益 (百万円)	10,137	10,046	10,785	10,901	

	2017年度 平成29年度	2018年度 平成30年度	2019年度 平成31年度	2020年度 平成32年度
自己資本比率 (%)	9.69%	9.91%	10.12%	10.31%
店舗数 (店)	25	26	28	29
常勤従業員数 (人)	541	581	606	626
一人あたりの人件費 (千円)	7,201	7,346	7,492	7,642
PH 預積金末残 (億円)	21.11	21.34	21.95	22.68
PH 貸出金末残 (億円)	9.52	9.85	10.38	10.96
PH 当期純利益 (千円)	18,738	17,290	17,797	17,414
OHR (経費/業務粗利益) (%)	37.32%	37.51%	37.43%	37.41%
経費率(経費/預金残高) (%)	0.61%	0.61%	0.61%	0.61%



